



## 2020年度 東海大学 1日目

### 【 講 評 】

大問構成は8題で、例年通り大問1が長文読解、大問2が文法・語法、大問3が語彙、大問4が会話文読解、大問5が文整序、大問6が資料読解、大問7が英文和訳、大問8が和文英訳であった。英語の運用能力を様々な角度から試されているが、どの大問も平易な問題が多い。特に大問2の文法・語法は基本的な問題ばかり並んでおり、失点は避けたい。大問7も基本的な構文を理解していれば容易に和訳できる。唯一、大きく差がついたと思われるのが大問8である。しかし、ここでも和文英訳頻出の表現（高温、降水量、地球温暖化、深刻な影響を与える、など）が狙われているので、英作文の対策を行っていれば得点できたはずである。

### 【 解 答 ・ 解 説 】

1

問1 ア

ア 15に記述 イ 1901年はノーベル賞が始まった年 ウ 記載なし、ノーベル賞当初は5種から始まった エ 1930年代は研究を始めたころ

問2 ア

ア～にも関わらず イ～と比べると ウ～を支持して エ～に関して 前文の研究の功績の文と、直後の長年認められなかったという内容から考えて、逆接のア

問3 エ

ア 17歳で始めた (110) イ 113-14 ウ 19 エ earn - degrees で(学位)を取得する。本文では広い分野ではなく、植物学の分野でいくつかの学位を取得しているのでエが答え。(110-11)

問4 イ

問4は本文に記載されていることではなく、本文から推測できることを答える。本文から両者は McClintock に対してプラスの影響を及ぼしたと考えられるので、イ。

問5 イ

cytogenetic の注より遺伝学的内容であろうと予測ができる。下線部後ろより下線部は植物・動物で世代間に伝わるものということがわかるので、「独特な特徴」という意のイが答え。

問7 エ

ア 121 イ 121-23 ウ 125-27、彼女が時代の最先端にいたという記述より、彼女は前進的なアイデアを持っていたと言い換えられる。 エ 123 に年齢の記述はあるものの、それは彼女の功績（プラス面）についての話ゆえ答えはエ

問7 イ

問4と同様予測問題。 ア 記載なし。respectful of~で~を尊重するコロケーション注意。イ 120に McClintock's work was not respected の記載あり。 ウ McClintock はその分野の研究の先駆者だったとのことなので、研究よりの選挙に力を入れていたとは考えにくいので×。 エ 1944年は National Academy of Sciences に選ばれた年。研究を終わらせたとの記載はないので×。

問8 ア

ア 回避、忌避 イ 折り返し、反応 ウ 理解 エ 不注意 120の McClintock's work was not respected などより彼女の研究はまだ認められていなかったことがわかるので、アが最も近い意味となる。

問9 ウ

134-35 に changes in the position of genes に記載あり。ここでの jump は比喩的な意味であることの注意。

問10 ウ

138-40に DNA 研究についての記載があり、141-42に彼女の研究が上記の DNA 研究により支持されたとの記載あり。

問11 エ

ア ノーベル賞は主に導入部の話であるし、候補者についての記述もないので不適。 イ McClintock の話であり、maize についての話ではないので不適 ウ McClintock は唯一の女性遺伝学者との記載はないので不適。 エ 全文にわたり McClintock についての話であり、彼女が遺伝についての研究の先駆者で大きな影響を残したことも分の後半に多く記載されているのでエが最も適切であると考えられる。

問12 1T 2T 3T 4F

1 110-11に 1919年秋から 1927年春にかけて学士・修士・博士の3つの学位をとったことが記載されているのでT。

2 130に染料を使った研究の記述があり、それにより彼女は遺伝子が動きうることを発見したのでT。

3 138-にバクテリアの研究者が DNA を見つけたとの記載があり、これは McClintock の研究との関連がある。また、142-43の騎士より、ほかの生物における世代間遺伝のことも分かったと考えられる。よってT。(Fではない)

4 記述なし。よってF。

1 ア

カッコ外で既に SVO の文系が完成しており文としては成り立っている。形容詞を就職するのは副詞なので回答はア。品詞の混同に注意。

2 エ

beat は他動詞なので目的語を取るが、ないので受身形をとっていると判断できる。よって be 動詞＋過去分詞のエが正解。

3 エ

理由の意味の独立分詞構文。分詞節の内容が主節の理由であると文脈から判断し、現在分詞のエを選ぶ

4 イ

仮定法現在。主張・提案・命令・義務などの動詞が主節にあると that 節内で should を用いることがある。この should は省略可能。今回は動詞ではないが名詞で proposal(動詞は propose:提案)が使われているので、同様に考えて不定詞のイを選ぶ。

5 ウ

仮定法の問題。時制は過去より、仮定法過去完了のウを選ぶ。

6 イ

us を修飾しているので形容詞のイ

7 ア

as many で「～と同数の」という意味。よって答えはア。ここでの in as many days は直前院 4 つの遊園地に行ったことが書いてあるので、in 4 days と同義になる。

8 ウ

前文を受けて肯定・否定するときには倒置が起きる (so am I, neither am I)。

9 イ

who の先行詞を含む関係代名詞の用法。目的格の関係代名詞である。

10 エ

It ... that を用いた強調構文。協調する部分か長いので後ろにまとまっている。

下線部と各選択肢の主な意味を示す。

1 エ

下線部：～を慎む

ア：中に入る イ：やり直す ウ：統計する エ：…なしですます

2 ア

下線部：崩壊、消滅

ア：終わり イ：収集 ウ：…に対し不買同盟を結ぶ エ：使う

3 ウ

下線部：和らげる、慰める

ア：愉快的 イ：感動させる ウ：くつろがせる エ：うっとりさせる、心をそそる

4 イ

下線部：優勢に、圧倒的に

ア：人工的に イ：たいてい、大部分 ウ：接近して エ：伝統的に

5 ウ

下線部：アラビア数字

ア：分 イ：パスワード ウ：数 エ：音節

6 ウ

下線部：制限される

ア：促進される イ：(使い) ならず ウ：制限される エ：固定される

7 ア

下線部：…に課する、徴収する

ア：負わせる、課する イ：記録する ウ：払う エ：澄ませる

8 イ

下線部：報酬

ア：信頼 イ：給料、俸給 ウ：経営、取り扱い エ：訓練

9 エ

下線部：生息域

ア：慣習 イ：病気 ウ：材料 エ：縄張り

10 ア

下線部：同然

ア：…も同然 イ：ますます ウ：突然に エ：典型的に

4

1 エ

アは16の almost ten years よりまだ10年以上は経っていないので×。イは113の upcoming movie より映画はまだ上映されていないと思われるので×。ウは14より番組に戻ってこられてうれしいと言っているので出演は初めてではなく、×。エは111より主要でない役は演じたことがあるといているので○。

2 ウ

アは113より headlining とあるので正しい内容。イは(117-119)で共演者を好いていることがわかるので正しい内容。ウは115より空手や柔道を習わなければならなかったとあり、以前から役に必要なそれらができていたわけではないので正しくない。エは114の Jennifer is nothing like Kathryn より文意に合う。よって答えはウ。

3 ウ

下線部の前に I was nervous とマイナスイメージの言葉があるが、but の逆接でつながっているので下線部は逆にプラスの意味となるだろうという予測がつく。選択肢で Elizabeth に対して共演者がプラスの影響を与えているのはウ。

4 エ

11の My new guest、14の your show より Elizabeth が番組のゲストであり、Jack が番組を持っていることがわかる。さらに127に talk とあるので、トークショーということもわかる。

5 ア

L2の painting and sculptures が置いてあるのはアの art gallery。

6 イ

アは112-14より Susan も Jason もフランス語を十分に話せないとわかるので×。イは19-11で二人とも現在ケータイが使えないから困っていることがわかり、Susan のケータイの充電が無くなる前は Susan のケータイで道を調べていたと予想ができる。ウは114.15よりタクシーの運転手と会話できないとわかるので×。エは118より二人は標識が読めないとわかる。よって答えはイ。

7 イ

コンセルジュの言葉は125-27に記載。

アは126の newest より×。イは125の famous より○。ウは126の designed by local architect より×。エは126-27の blessed by Pop より×。

8 ウ

下線部を直訳すると「その橋についたら渡る」。また、129に let's head there and find out とあるのでとりあえず現地に向かうことがわかる。これらに元雄も近いのはウ。

9 ア

129-30の let's head there より協会に向かうことがわかるのでア。

5

問1 イ

3の this は4の 365.2422 days を指す。1に this difference…とあるので1は3、4より後にくると考えられる。2の That is why は1の problem への解決策となる。よって順番は4→3→1→2。

問2 ア

2の In one study は3の research の具体例と考えられる。1の It は2の another plant、this は grew more roots overnight を指す。1は指示語が多い。4には concluded とあるので最後にくると思われる。よって順番は3→2→1→4。

問3 ウ

1→4は順接でつながる。4の he は Charles Babbage のこと。3に however とあり、4と3は逆接でつながる。2は3の具体例なので2→3でつながる。よって順番は1→4→3→2

問4 ア

1の The system は4の world's first writing system のこと。2の These symbols は1の picture symbols。1に wedge-shaped marks とあり、3で Because of this と、文の最後の“wedges”につながる。

6

(1) ウ

グラフの Maplemoor の部分を見る。8月まではほぼ200人がが、9月からは変化がある。よって consistentなのは年のはじめから8か月間なので、答えはウ。

(2) ア

Springmable は12月以外、つまり年の11か月間を考えると一番来場者数が少ない。よって答えはア。

(3) エ

Westergold の10月と1月の部分を比べると10月は1月の半分になっているので答えはエ。

(4) ウ

10月から12月を合算したとき Westergold が最も来場者数が多い。

7

(1) 多くの免疫機構遺伝子は活性化状態に変わる。つまり、新しい環境を理解し、順応するために体が非常に警戒した状態に保たれるということだ。

(2) 宇宙にある粒子が彼の染色体の変化を促進したようである。しかしながら、それらのおおよそ10分の9は地球に帰ったとき通常の状態に戻った。

8

(1) A hypothesis was formed that high temperature and increased rainfall amount made farmers to sacrifice most parts of their harvest.

(2) Environment researchers are now investigating how heavily global warming might affect future agriculture.

お問い合わせは ☎ 0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>